

関係各位

高知県病虫害防除所長

令和 3 年度病虫害発生予察技術情報（第 9 号）

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
の発生について

果樹カメムシ類の発生が増加傾向にありますので、果樹園への飛来には十分注意してください。県内の果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査において、9月第1～第4半旬の誘殺数の県内合計値は平年の約3.8倍となっており、特に県西部では平年を大きく上回っています（表）。

今後、ナシ、カキ、カンキツなどの果樹園に飛来し、果実被害が発生する恐れがありますので、下記に注意して園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努めてください。

記

- 1 果樹カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域や園地による差が大きいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施する。
- 2 園地への飛来は、曇天で夜温の下がらない日に多くなる傾向がある。なお、夜温が低下すると飛来数は減少するが、日中の気温が高いと加害は続くので注意する。
- 3 台風通過後や強風雨後には、風であおられたカメムシが一時的に多く飛来することがあるので注意する。
- 4 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病虫害防除所のホームページ（<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dt1.php?ID=4712>）に掲載しているので参考にする。防除等は県防除指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

表 9月第1～第4半旬の果樹カメムシ類¹⁾のフェロモントラップ誘殺数(頭)

調査年度	調査地点 ²⁾				県内合計
	東部	中央部	中西部	西部	
2021年	62	38	312	599	1,011
2020年	18	18	111	17	164
平年 ³⁾	22.7	67.0	134.4	45.1	269.2

1) チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計

2) 東部：安芸市井ノ口、中央部：香美市土佐山田町宮ノ口、中西部：須崎市浦ノ内、西部：四万十市竹島

3) 2011～2020年の10ヵ年平均